

ご挨拶

議員になってから、2年がたとうとしています。議会で奮闘する中で「民主主義って何だろう?」と考えさせられる、そんな一年でした。

保育料の急激な値上げや関越道路高架下の「再開発」に象徴されるように、当事者の声を無視する形でさまざまな事が強引に決められていく、そんなことが区政の場で行われています。

こんな時代だからこそ、私の原点、地域の中で理不尽な状況に苦しむ方々、声をあげることのできない方々に寄り添い、その声を政治に反映させたい。その思いでこれからも議会に臨みたいと思います。

岩瀬 たけし

岩瀬たけし

プロフィール

1977年生まれ。早稲田大学法学部卒業。同大学院経営学修士号(MBA)取得。三井化学(株)勤務後、国際協力機構(JICA)等の専門家として、全世界20ヵ国以上で地域開発事業に従事。

妻、2歳の息子、義母と大泉学園町在住。第18期練馬区議会議員に初挑戦で当選。市民の声ねりま副代表

●文教児童青少年委員会

●清掃・エネルギー等特別委員会

- 1 面 認可保育園 保育料の実質値上げについて
- 2 面 区議会をもっと身近に！ 議会改革に向けて
小中学校の統廃合案について、意見書の提出
- 3 面 岩瀬たけし 2016 年の成果報告
- 4 面 アンケートのお願い
事務所だより

■認可保育園 保育料の実質値上げについて

練馬区は 子育てしやすい町ナンバー1!?

昨年12月の議会で区内の認可保育所の保育料を実質的に引き上げることが決定されました。

区立、私立を問わず認可保育園の保育料は各自治体が決定することになっていますが、保育園などを含む幼児教育については、段階的に無料にしていく、それが国の方針としても示されています。

練馬区は「子育てしやすい町ナンバー1」であることを大きく宣伝してきましたが、今回の決定はこうした流れにも大きく逆行するものです。お隣の西東京市や世田谷区、中野区などは昨年と同じ保育料なのに、練馬区だけは今年4月から70%もの家庭で実質的に値上げされることになります。

さらに、保育料を算出する方法も変わったため、値上げ幅が非常に大きくなる世帯が数多く出てしまう、という課題があります。

例えば、世帯年収が236万円～245万円のご家庭の場合、そのうち15%の方は年間で6万円近く負担が増えてしまいます。

練馬区は、今回の保育料改定は「応能負担の原則で所得の高い方の負担を大きくする」としています。しかし、現実には所得の高い方だけでなく、全体の7割もの家庭に大変大きな負担を強いてしまうわけです。

保育をはじめ子育てに関わる政策については、予算を含めて、行政としてしっかりと支えていくべきものであり、安易な保育料の値上げには今後も反対するとともに、来年度の予算編成においても子育ての充実を訴えていきます。





大泉北小学校での防災訓練に参加

高校や大学で講演の機会を頂きました。

- フリースクール 東京シユール『10代の政治参加』について (30名参加)
- 早稲田大学 社会科学部『地域でできる国際協力等』について (200名参加)



早稲田大学での講演



2回目の一般質問



築地市場の視察



関越高架下の再開発への反対



アフガニスタンなどで活躍されている中村哲医師の講演会の実施



大泉で里芋の収穫



委員会視察

・山口県 周南市、宇部市
・北海道 弘前市、函館市、七飯町



大江戸線延伸の勉強会の実施



ねりま選挙フェスタに参加



いわせてカフェの実施

岩瀬たけし2016年の成果報告



昨年、いわせてカフェ(区政報告会)や大江戸線延伸勉強会など多くのイベントを実施しました。また、皆さんから頂いた意見を行政へつなぎ、より住みやすい町とするために取り組みました。昨年の主な活動をご紹介します。

災害時に危険となる可能性があるため、白子川に生えている木への対応を求め、伐採されました。

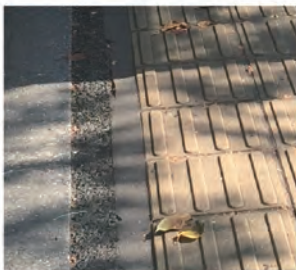
大泉町で見通しが悪い通りに看板を設置するよう要請し、実現しました。



大泉学園通りで、点字ブロックが剥がれ、住民の方が怪我をされました。迅速な修理を要請し、補修がなされました。



剥がれた点字ブロック



補修後の歩道



学園町の住宅解体工事にて、アスベスト検査の結果を表示をしていない事業者に対し、改善を求め、表示されました。



岩瀬たけしの基本政策

- 「平和と人権」、「いのちとくらし」の区政を！ ●高齢者、障がい者、性的少数者、外国人など、多様性尊重の練馬へ！
- 「女性の活躍」のためにも、男性が地域と家庭で輝くまちへ！ ●子どもの個性を尊重し、世界で活躍する人材を！

区議会をもっと身近に！

議会改革に向けて

私たちの取り組み

区議会は私たちの生活に最も身近な議会。それなのに、何が起きているのか全くわからない、そう感じたことはないでしょうか？

実は練馬区議会、他の自治体の議会と比べてとても遅れているところがあります。例えばお隣の世田谷などでは当たり前のように行われている議会のネット中継もあります。パワーポイントを使って一般質問が行われる議会もあります。練馬区議会では議場へのパソコンの持ち込みすら禁じられています。委員会で議論される内容についても事前に公表されず、傍聴の方は当日、会場に行って初めて知らされる状況です。

区議会では、これまで主に幹事長会を中心に議会の改革が検討されてきましたが、残念ながら、目に見える形で実感できる変化はなかなか見られません。市民の声ねりまは少数会派のため、幹事長会・議会運営委員会に参加できず、直接、議会改革の議論に参画する機会を持ちません。しかし、議会での議論が前に進むことを願い、緊急性と実現可能性の高いものを中心に『議会運営に関する緊急要望』を議長あてに提出しました。

要望書は、議長の取り計らいで各幹事長会派に回覧されたとのことですが、その後、幹事長会で具体的に検討する機会は持っていないようです。私たちの要望に限らず、それぞれの会派からも

要望、提案等がなされ、一つでも二つでも改善が図られていくことを切に期待しています。

要望の主な内容は以下の通りです。

1. 区民にとってより身近な議会とするために

- ・委員会の傍聴者に対して、何が議論されるか示す案件表を配布すること。会議資料についても、閲覧可能なよう一定数を用意すること
- ・直近の委員会の日程と案件を事前に公式ホームページで告知すること
- ・受理された請願・陳情の一覧(件名)付託委員会、審査の経過などを公式ホームページに掲載すること

2. 議会の議論をより充実したものにするために

- ・条例改正案の新旧対照表を委員会質疑の前日までに配布すること
- ・請願・陳情の審査について、一度も審査されないままに期末を迎えることがないようにすること

3. 議会事務局のあり方等について

- ・施設面や会議運営のバリアフリー対応など検証、必要な改善を図ること
- ・議会事務局職員としての専門的な研修を計画的に進めること
- ・議員控室の使用済み茶器の洗浄を庶務係の職務としないこと

練馬区議会がもっと身近になるためにこれからも声をあげていきます！



小中学校の統廃合案について

住民や当事者の声を

無視しているのか？

練馬区で小中学校の統廃合が次々と計画されています。

練馬区は「子どもの教育環境を守るため」としていますが、その背景には学校運営費の削減や老朽化した校舎の立替費用を抑えることなど、区の予算削減も目的として見えてきます。

現在は光が丘第四中学校の閉校そして、小竹小学校・旭丘小学校・併設されている旭丘中学校の統廃合による小中一貫校の設置が議会で議論されています。

先日、小竹小で区の方針について説明会が行われ、私も参加しました。参加者のほとんどは統廃合に対して強い反対を訴えていました。

そもそも、小竹小のある地域では、今後も生徒数の増加が予想されており、数年後には区の基準で言う「過小規模校」ですらなくなります。子どもの数が増えるという予想がある中、なぜ閉校しなくてはいけないのか、当然の疑問ではないでしょうか。

旭丘小と小竹小の統廃合については、これまで、地域の方を含めた会議に

おいて何度も議論がされてきましたが、結論は出ませんでした。そのため、説明会を新たに開いて住民の意見を聞くことになったという経緯があります。

所属する文教委員会のなかで、練馬区に対して、今後も説明会で地域の方や保護者から十分な理解が得られなかった場合、統廃合の計画を撤回するのかが問われました。

それに対し、区への回答は住民の意見についてはふまえられるところはふまえるものの、あくまでも3校を廃止して一貫校を作る方針であるとのことでした。しかし、地域の説明会で最も多かった意見は統廃合をやめてほしいということであり、それが届かないのであれば、一体何のための会だったのか、ということになります。

生徒数の増加が予想され、区の基準でいう過小規模ではなくなる学校を、住民や当事者の声を無視して一方的に閉校にしようとする。光が丘4中でも、保護者を含めた当事者の声が無視されようとしており、こうした区の姿勢は、そのまま現在の区政を示しているものです。三校の廃校について、今後も地域の皆さんと一緒に白紙撤回を求めていきたいと思っています。

意見書の提出

全駅にホームドアと点字ブロックの整備促進を求める意見書を練馬区議会として国に提出しました。



市民の声
ねりま

市民の声ねりまは、一人ひとりの市民の思いをつなぎ、声を区政に届けます。

めざすものは「ともに生きる」ともにつくる「まちと政治」 池尻成二と岩瀬たけし、二人の議員を先頭にごんばっています！

市民の声ねりまニュース「いぶき」購読料1,000円(年4回送料込)

〒178-0063 練馬区東大泉5-6-9 (03-5933-0108)

アンケートご協力をお願い

岩瀬たけしの議会報告「いわせてかわら版」をご覧いただきありがとうございます。

年4回、地域の方や、駅などでお会いする皆さまに配布させていただいており、今回で12号目になります。かわら版を読んでいただいている皆さまからお声を聞かせていただければと、アンケートを企画しました。

今後の活動の参考とさせていただきますので、ぜひご協力をよろしくお願いいたします。
お手数をおかけして恐縮ですが、掲載面をFaxでご送付いただくかE-mailでご連絡ください。

岩瀬たけし事務所 TEL/FAX :03-5935-4071
E-mail : lwaseteNerima@gmail.com

※いただいたアンケートにつきましては、個人情報特定できないよう情報処理をし、かわら版やブログなどで取り上げさせていただきますことがあります。あらかじめご了承ください。

■お名前

■ご住所

■かわら版の読みやすさ (○で囲んでください)

読みやすい 読みにくい その他()

■どの記事に関心がありましたか？ 複数回答可

保育料の実質値上げについて 意見書の提出

区議会をもっと身近に！ 小中学校の統廃合案

岩瀬たけしの成果報告 事務所だより

■その理由をお聞かせください

■今後どのような課題を取り上げて欲しいですか？

■大泉地域でお困りのことはありませんか？

■事務所だより

昨年の夏に事務所を開いて半年が過ぎました。

岩瀬たけしの活動を励み、ご支援いただいておりますことをスタッフ一同心より感謝申し上げます。

地域の皆さまに支えられ、たくさんの出会いがあり、少しずつですが人の輪が広がってきています。

法律や生活の相談だけでなく、散歩の途中などにも立ち寄り、話を聞けるようになっています。

これからも地域の皆さまをはじめ、たくさんの方々が、気軽に立ち寄れる、悩みや困っていることを相談できる、岩瀬たけしと直接話ができる、そんな人と人とのつながりの場所にしていきたいと思っております。

ぜひ、事務所へもお気軽に立ち寄り下さい。

岩瀬たけしが区議に当選して間もなく三年目を迎えようとしています。今後とも日々よろしくお願いいたします。

岩瀬たけし事務所スタッフ一同



岩瀬たけし



◆岩瀬たけし事務所

〒178-0061

練馬区大泉学園町3-1-32-205

TEL/FAX : 03-5935-4071

E-mail : lwaseteNerima@gmail.com

◆事務所開所日

毎週火曜・木曜10:00～17:00

(祝日をのぞく)



- 毎週、水・木・金曜日の朝7時～大泉学園駅、保谷駅等で活動報告を行っています
- かわら版 年4回の議会ごとに作成、区政報告とイベント等をお知らせしています
- メルマガ 日々の活動について、2週間に1回程度、配信を行っています
- オフィシャルサイト <http://iwasetakeshi.net/>

岩瀬たけしの政策やブログ、過去のかわら版もご覧いただけます

